

I. 広東省

1. 胡春華・省党書記が中山市、珠海市、惠州市を視察

●9日～13日、胡春華・省党書記が中山市、珠海市の科学技術イノベーションと惠州市の新農村建設の進捗状況を視察し、次のように強調した。習近平・総書記の広東省に対する重要指示の精神を真剣に貫徹し、科学技術の研究開発と誘致力を強め、コア・コンピタンスの鍵を握るよう努力し、イノベーションによる発展戦略をしっかりと実行していかなければならない（8月14日付『南方日報』）。

2. 省工商連（総商会）第12回代表大会の開催

●13日、上記代表大会が開催され、胡春華・省党書記、馬興瑞・省長が同会議に出席した代表者と面会し、全国工商連から祝賀メッセージが送られた。任学鋒・広州市党書記も会議に出席するとともに講話を行なった。全省各地・各業界の私営企業代表、香港・マカオ地区の工商業界代表約700人も出席（8月14日付『南方日報』）。

3. 馬興瑞・省長が広州市、深圳市、仏山市、東莞市を視察

●15日、馬興瑞・省長（省級総河川長）が上記4地域を訪れ、各水系の污水対策状況を視察し、しっかりと責任感を持って、系統的に対策を行い、期限通りに水質改善目標の実現を確保するよう述べた（8月16日付『南方日報』）。

4. 世界浙江省出身ビジネスマン（広東2017）サミット・フォーラム等の開催

●17日、広州市で第3回世界浙江省出身ビジネスマン（広東2017）サミット・フォーラムならびに広東省浙江商会第4回理事会就任式が開催され、黄寧生・副省長、馮飛・浙江省常務副省長、ジャック・マー（馬雲）アリババ董事局主席等が出席するとともに挨拶を行い、約80社による広東省と浙江省の重要な協力プロジェクトの署名式が開催された（8月18日付『広州日報』、19日付『南方日報』）。

●17日、広東省と浙江省の科学技術イノベーション及び有効な投資の拡大に関する座談会が開催され、黄寧生・副省長、馮飛・浙江省常務副省長が出席。双方は重要プロジェクトと科学技術イノベーションにおける協力を強化し、有効な投資を拡大していくこと等について踏み込んだ意見交換を行なった。座談会では省発展改革委員会、省科学技術庁がそれぞれ広東省の関連状況について紹介した（8月18日付『広州日報』）。

5. 省党常務委員会議の開催

●18日午前、胡春華・省党書記主宰の上記会議で、習近平・総書記が上半期の経済動向に関し、中央政治局常務委員会会議、中央財經指導グループ第16回会議で述べた重要講話の精神を伝達・学習し、「裁判所が執行が困難な問題を適切に解決できるようサポートするための意見」について審議し採択（8月19日付『南方日報』）。

6. 胡春華・省党書記、馬興瑞・省長がブランスタッド在中国米国大使一行と会談

●18日午後、上記会談で胡春華・省党書記は省党委員会・省政府を代表し、一行の広東省訪問に歓迎の意を表するとともに、同省の経済・社会発展状況について紹介し、次のように述べた。同省は中国でも経済と貿易に強い省であり、世界の重要な製造拠点でもある。第18回党大会以降、習近平同志を核心とする党中央の力強い指導の下、同省の経済は安定的かつ健康な発展を維持しており、各種事業の発展も際立った成果を上げている。現在、全省をあげて、「4つの堅持、3つの支え、2つの率先」という習近平・総書記の広東省に対する重要指示を深く貫徹し、奮起して各種業務をしっかりと行い、新たなスタート地点における新たな局面を創出すべく取り組んでおり、同省と米国の地方の経済も密接に連携しており、協力可能な空間も開けている。同大使には引き続き広東省と米国の地方交流を推進し、経済・貿易・投資・人と文化の交流、科学技術イノベーション等の分野における協力を深め、米中関係の前向きな発展に積極的に貢献していただきたい（8月19日付『南方日報』）。

7. 国家発展改革委員会が広東・香港・マカオ・ベイエリア建設に関する記者会見を開催

●18日、孟瑋・国家発展改革委員会報道官が記者会見を行い、7月1日に香港で署名された「広東・香港・マカオの協力を深め、ベイエリアの建設を推進することに関する枠組み協定」について、次のように述べた。同ベイエリアの建設を推進していく上で、①協力メカニズムの構築、②発展計画の作成、③各年度の重要プロジェクトと重点業務の設定、④プラン作成、⑤モデルの例示、の5点に重点的にしっかりと取り組む（8月19日付『南方日報』）。

II. 広州市

1. 盧一先・市統一戦線部長が台湾経済・貿易訪問団一行と会談

●14日、盧一先・市統一戦線部長が蔡練生・台湾工業総会秘書長率いる上記一行と会談し、広州市の経済・社会発展、広州・台湾経済・貿易交流・協力等の状況について紹介し、次のように述べた。同市は現在、ハブ型ネットワークシティの構築に力を入れており、3つの国際戦略的ハブ機能（海運・航空・金融）の強化を通じて、グローバルな発展要素の配置と国際分業の中から新たな原動力を見つけ出し、新しく、かつ広い発展空間とビジネス協力のチャンスをつかんでいきたいと考えているので、台湾の企業家には同市との協力を強化し、チャンスをつかみ、共に発展していくウィンウィンの状態を作り出していきたい（8月15日付『広州日報』）。

2. 南沙区の動向

●14日、蔡朝林・南沙区党書記、王桂林・市科学技術イノベーション委员会主任、譚麗霞・ハイアール集団副総裁兼CFO立会いの下、広州南沙開発区管理委員会、市科学技術イノベーション委員会、ハイアール集団が「戦略的協力枠組み協定」に署名し、南沙区は「ハイアール・グローバル産業金融センター」、ハイアール・フィンテックセンター等、「科学技術・金融・産業」の3つが融合したプロジェクトの誘致に成功した（8月15日付『広州日報』）。

●18日午後、南沙開発区と上海海事大学による戦略的協力協定の署名式、ならびに広東・香港・マカオ・ベイエリア・サプライチェーン研究院のプレート除幕式が開催され、蔡朝林・南沙区党書記等が出席（8月19日付『広州日報』）。

●17日午後、蔡朝林・南沙区党書記、丁繼紅・中国ベンチャーキャピタル研究院院長立会いの下、広州南沙開発区管理委員会と中国ベンチャーキャピタル研究院が全面的な戦略的協力協定に署名。これにより、双方は同研究院による同区でのオペレーション本部、1000億元規模のマザーファンド、国際金融投資学院、グローバルなプロジェクトの巡回展示センターの設立、南沙基金ビル（仮名）の用地選定・建設等のプロジェクトで全面的に協力していくこととなった（8月19日付『広州日報』）。

3. 陳建華・市人代主任が科学技術イノベーション企業座談会に出席

●15日、「広州市科学技術イノベーション促進条例」の実施状況についての理解を深めるため、市人代常務委員会が上記座談会を開催。米「First Company」誌がここ3年評価している同市のイノベーション型企業19社の責任者を招いて、発展状況や政策に関する意見・提案を聴取。陳建華・市人代主任が出席するとともに講話を行なった（8月16日付『広州日報』）。

4. 全市党外幹部のための中国の特色ある社会主義の堅持・発展に関する研修クラスがスタート

●17日、市社会主義学院が上記研修を開始し、任学鋒・市党書記が開講式でガイダンスを行なった（8月18日付『広州日報』）。

5. 任学鋒・市党書記がジャック・マー（馬雲）アリババ集団董事局主席一行と会談

●17日、上記会談で任学鋒・市党書記は次のように述べた。広州市は新発展理念を真剣に実践し、供給構造改革、イノベーションによる発展、開放型経済の新体制構築を深く推進し、ハブ型ネットワークシティの機能を絶えず強化している。新世代情報技術、AI、バイオ製薬、新エネルギー、新素材等の戦略的新興産業を発展させていくことにも力を入れており、ビジネスモデルや消費モデルの刷新も積極的に推し進めている（8月18日付『広州日報』）。

Ⅲ. 深圳市

1. 人事異動

● 17日、深圳市第6期人代常務委員会第19回会議で、黄敏・宝安区党書記、高自民・龍崗区党書記の副市長就任、張虎・常務副市長の辞職が決定（8月18日付『深圳特区報』）。

● 22日、深圳市第6期人代第4回会議が開催され、陳如桂・市長代理が市長に当選（8月23日付『深圳特区報』）。

2. 第3回華人・華僑産業交易会（僑交会）の開催

● 13日、上記僑交会が開幕し、27の国と地域から615社が出展。李卓彬・中国帰国華僑連合会副主席、林潔・市統一戦線部長等が開幕式に出席。同僑交会は本年10月6日にインドネシア、来年には南アフリカ・ヨハネスブルグでも開催予定（8月14日付『深圳特区報』、『南方日報』）。

3. 王偉中・市党書記による会談

● 14日昼、王偉中・市党書記が張亜平・中国科学院副院長一行と会談。葉玉如・院士、ロバート・デジモン教授（MITマクガバン脳科学研究所の所長）等も同席（8月15日付『深圳特区報』）。

● 15日午前、王偉中・市党書記が常振明・中信集团董事长一行と会談（8月16日付『深圳特区報』）。

● 17日午前、王偉中・市党書記が郭元強・珠海市党書記、李沢中・珠海市長率いる同市党・政府代表団一行と会談（8月18日付『深圳特区報』）。

4. 2017メディア融合発展フォーラムの開催

● 18日～19日、上記フォーラムが開催され、庹震・中央宣伝部副部長、楊振武・人民日報社長、王偉中・市党書記、慎海雄・省宣伝部長をはじめ、中華全国新聞工作者協会、人民日報、新華社、解放軍報、光明日報、チャイナデイリー、科技日報、浙江省・安徽省宣伝部、李建紅・招商集团董事长、馬化騰テンセントCEO等、約500人の来賓が出席し、「We are one」というテーマをめぐり、挨拶・基調講演・円卓対話・成果発表等の形で、等の新聞として評論を融合させていく問題について討議した（8月18日付、20日付『深圳特区報』）。

5. 招商仁和人寿が深圳市に進出

● 19日、中国保険業の老舗ブランド企業である招商仁和人寿が市民センターで開業式を行なった。同社は前海で登記、資本金は50億元、招商局集団が発起人となり、株主にはチャイナ・モバイル、中国民間航空情報ネットワーク株式会社、深圳投資ホールディングス等が連なっている。李建紅・招商集团董事长、艾学峰・副市長が式典に出席（8月20日付『深圳特区報』）。